

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2018年第33週
(8月13日～8月19日)

- * 2018年8月22日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「急増する梅毒、その診断と治療」も掲載しています。

平成30(2018)年8月23日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2018年33週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		30週	31週	32週	33週	年累計	33週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	55	52	65	63	2,084	312	13,517
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ							3
	細菌性赤痢	1				26		100
	腸管出血性大腸菌感染症	39	20	24	30	260	195	2,143
	腸チフス		1			7		21
	パラチフス			1		7		13
四類	E型肝炎	1	1	3	3	59	5	279
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	6	8	14	11	315	18	665
	エキノコックス症							7
	黄熱							
	オウム病					1		5
	オムスク出血熱							
	回帰熱							5
	キャサヌル森林病							
	Q熱			2		2		3
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							2
	サル痘							
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}						1	54
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							1
	炭疽							
	チクングニア熱							1
つつが虫病					4	2	96	
デング熱		1	2	1	27	5	90	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		30週	31週	32週	33週	年累計	33週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						12	138
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症					1		2
	マラリア		1	1		9	2	30
	野兔病							
	ライム病							6
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽					1		2
レジオネラ症	6		4	5	78	32	1,188	
レプトスピラ症					1		3	
ロッキー山紅斑熱								
2018/8/22集計								

(全数把握対象疾患のコメント・一類～五類)

〈二類感染症〉

結核 63件 患者 38件(肺結核 30件、その他の結核 6件、肺結核及びその他の結核 2件)、無症状病原体保有者 25件、年齢は10歳未満 4件(うち5歳未満 2件)、10代 2件、20代 5件、30代 4件、40代 4件、50代 16件、60代 4件、70代 9件、80代 11件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 43件、フィリピン 1件、中国 1件、不明 18件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 30件 患者 20件、無症状病原体保有者 10件、血清型・毒素型はO26 VT1 2件、O121 VT2 3件、O157 VT1・VT2 13件、O157 VT2 6件、O157 VT型不明 2件、血清型不明VT1 3件、血清型不明VT型不明 1件、年齢は10歳未満 5件(うち5歳未満 2件)、10代 3件、20代 8件、30代 5件、40代 3件、50代 5件、70代 1件、推定感染地は国内 30件、推定感染経路は経口感染 11件、集団感染 9件、不明 10件であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 3件 患者 3件、年齢は30代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は不明 3件であった。

A型肝炎 11件 患者 11件、年齢は10代 1件、20代 3件、30代 4件、40代 2件、50代 1件、推定感染地は国内 10件、カンボジア又はタイ 1件、推定感染経路は性的接触 4件(同性間 3件、性別不明 1件)、経口感染 4件、不明 3件、A型肝炎ワクチン接種歴は無し 7件、不明 4件であった。

デング熱 1件 病型はデング熱、血清型は不明、年齢は60代、推定感染地はフィリピンであった。

レジオネラ症 5件 病型は肺炎型 5件、年齢は60代 5件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は水系感染 2件(温泉 1件、排水口清掃 1件)、不明 3件であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 病型は腸管 2件、年齢は50代 2件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路は異性間性的接触 1件、不明 1件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は性別不明性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴は不明であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2018年33週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		30週	31週	32週	33週	年累計	33週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	3	1	3	2	101	13	527
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	1	1	3	1	32		138
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5	3	4	4	116	43	1,173
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く） ^{*1}					2		20
	急性脳炎 ^{*2}	1	2	2		45	8	467
	クリプトスポリジウム症					3		11
	クロイツフェルト・ヤコブ病		2		1	16	2	134
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				60	12	468
	後天性免疫不全症候群	11	9	13	4	255	15	819
	ジアルジア症	1				12		48
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1		1	22	4	311
	侵襲性髄膜炎菌感染症					6		25
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	6	3	4	265	23	2,249
	水痘（入院例に限る）	1	2	3	1	38	5	273
	先天性風しん症候群							
	梅毒	32	32	35	22	1,088	67	4,221
	播種性クリプトコックス症		1			13	2	116
	破傷風	1				2	3	73
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3	2	45
百日咳 ^{*3}	96	84	99	67	845	154	4,791	
風しん	4	7	17	9	49	43	184	
麻しん					14	1	201	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					3		13	

2018/8/22集計

*1 2018年5月1日より追加指定された。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*3 2018年1月1日より追加指定された。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 4件 病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 1件、エンテロバクター・クロアカ 1件、大腸菌 1件、肺炎桿菌 1件、年齢は5歳未満 1件、60代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 2件、国外（渡航先不明）1件、不明 1件、推定感染経路は以前からの保菌 2件、不明 2件、90日以内の海外渡航歴は無し 4件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 古典型CJD、年齢は70代であった。

後天性免疫不全症候群 4件 無症候キャリア 3件、その他 1件、性別は男性 4件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 2件、30代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は同性間性的接触 4件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 血清型は検査未実施、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、ヒブワクチン接種歴は不明であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 4件 患者 3件、感染症死亡者の死体 1件、血清型はすべて検査未実施、年齢は40代 1件、60代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、不明 2件、肺炎球菌ワクチン接種歴は無し 2件、不明 2件であった。

水痘（入院例） 1件 検査診断例、年齢は60代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明、水痘ワクチン接種歴は不明であった。

梅毒 22件 患者 16件（早期顕症梅毒Ⅰ期 3件、早期顕症梅毒Ⅱ期 12件、晩期顕症梅毒 1件）、無症候梅毒 6件、性別は男性 17件、女性 5件、年齢は10代 1件、20代 5件、30代 8件、40代 3件、50代 5件、推定感染地は国内 20件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 21件（同性間 8件、異性間 7件、性別不明 6件）、不明 1件であった。

百日咳 67件 年齢は10歳未満 45件（うち5歳未満 4件）、10代 17件、20代 2件、40代 1件、50代 2件、推定感染地は国内 61件、ブラジル 1件、不明 5件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 52件、1回接種済み 2件、無し 2件、不明 11件であった。

風しん 9件 検査診断例 9件、年齢は20代 2件、30代 3件、40代 4件、推定感染地は国内 9件、推定感染経路は飛沫感染 1件、不明 8件、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種済み 1件、無し 1件、不明 7件であった。

※ 第32週で報告のあった〔五類〕百日咳 1件は削除された。

※ 第32週該当分として〔五類〕カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2件、後天性免疫不全症候群 1件、梅毒 3件、百日咳 1件、風しん 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2018年33週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2018年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数			
		30週	31週	32週	33週					
小児科	RSウイルス感染症	245 0.95	372 1.44	395 1.65	317 1.39	228	264			
	咽頭結膜熱	126 0.49	98 0.38	58 0.24	50 0.22					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	456 1.77	404 1.57	304 1.27	202 0.89					
	感染性胃腸炎	1,104 4.30	1,013 3.93	832 3.48	557 2.44					
	水痘	61 0.24	53 0.21	41 0.17	28 0.12					
	手足口病	308 1.20	298 1.16	270 1.13	160 0.70					
	伝染性紅斑	207 0.81	269 1.04	187 0.78	139 0.61					
	突発性発しん	159 0.62	139 0.54	104 0.44	70 0.31					
	ヘルパンギーナ	978 3.81	908 3.52	627 2.62	340 1.49					
	流行性耳下腺炎	28 0.11	21 0.08	21 0.09	7 0.03					
	川崎病 ^{*1}	2 0.01	5 0.02	3 0.01	2 0.01					
	不明発しん症 ^{*1}	36 0.14	40 0.16	24 0.10	17 0.07					
	インフル エンザ	インフルエンザ ^{*2}	8 0.02	10 0.02	9 0.02			12 0.03	378	419
眼科	急性出血性結膜炎					33	39			
	流行性角結膜炎	34 0.89	35 0.92	38 1.06	15 0.45					
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}	1 0.04	2 0.08		2 0.08	25	25			
	無菌性髄膜炎	1 0.04			3 0.12					
	マイコプラズマ肺炎	2 0.08	3 0.12	2 0.08	5 0.20					
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		1 0.04	1 0.04	1 0.04					
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}									
	インフルエンザ入院	2 0.08								
						2018/8/22集計				

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

* 百日咳は2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ 全体に定点当たりの報告数は減少していますが、お盆時期の休診が影響していると考えられます。
- ・ 伝染性紅斑は比較的高いレベルが続いています。
- ・ 手足口病、ヘルパンギーナは一部、定点報告数の高い地域が見られます。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2018年33週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	34	1	1	15		1			1		
6～11か月	58	2	1	51		16	2	14	35		
1歳	144	10	10	84	1	41	5	35	98		1
2歳	57	7	18	60	1	41	16	14	73		
3歳	18	10	25	58	1	16	19	2	54	1	1
4歳	5	9	30	32		21	16	4	34	1	
5歳	1	1	27	42	7	8	28	1	15	4	
6歳		2	23	31	3	5	12		12		
7歳		1	20	22	9	3	14		5		
8歳		1	14	20	2	1	10		4		
9歳		1	8	10	3	2	8			1	
10～14歳		1	9	45	1	2	5		3		
15～19歳		1	4	13					2		
20～29歳		3	12	74		3	4		4		
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	317	50	202	557	28	160	139	70	340	7	2
先週比	-78	-8	-102	-275	-13	-110	-48	-34	-287	-14	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月						2				
6～11か月	1			1						
1歳	8									
2歳	1	1		1						
3歳	1									
4歳										
5歳	2			1						
6歳	3			1						
7歳							1			
8歳	1	2		1						
9歳										
10～14歳		3		2		1	1			
15～19歳		1		1			1			
20～29歳		1		1			1			
30～39歳		2		2			1			
40～49歳		1		2						
50～59歳		1		2	1					
60～69歳										
70～79歳					1			1		
80歳以上										
合計	17	12		15	2	3	5	1		
先週比	-7	3		-23	2	3	3			

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2018年33週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田		0.33		0.33					0.33		
中央区	1.50		1.50	2.00				1.50	1.00		
みなと	5.83		1.00	3.83		0.17	0.33	0.67	2.00		
新宿区	4.00	0.63	2.88	2.38	0.13	0.38	0.13	0.13	1.50		0.13
文京	0.25			0.50		1.50	1.75		0.75		
台東	0.50	0.25	0.25	2.50		3.00	0.50	1.00	1.50		
墨田区	1.80	0.20	0.40	0.20		0.80	0.80	0.20	0.40		
江東区	3.22	0.22	0.67	5.11	0.11	0.44	1.00	0.33	0.56		
品川区	1.00	0.25	0.63	1.50	0.25	1.63	0.75	0.63	3.13		
目黒区	3.20		1.60	4.20		1.40	0.80		1.80	0.40	
大田区	1.25	0.67	0.58	3.33	0.08	0.67	0.17	0.33	1.17		0.08
世田谷	1.08	0.23	1.38	2.08	0.15	0.23	0.85	0.31	0.85	0.08	
渋谷区				1.00			0.50	0.25	0.50		
中野区	0.33	0.33	1.50	1.83		0.50	0.50	0.67	3.50	0.17	
杉並	0.50	0.30	0.40	1.40		0.50	0.40	0.40	0.90		
池袋	6.00		0.50	0.50	1.00	1.00	1.00		0.50		
北区	0.14		0.14	0.43		0.86	0.14	0.43	0.43		
荒川区	3.67	0.67	2.00	6.00		8.00		1.00	4.00		
板橋区	0.14	0.14	0.43	2.29		1.14	0.14		1.14		
練馬区	1.00	0.33	1.67	2.33	0.17	0.67	3.50	0.33	3.17		
足立	0.67	0.22	0.78	3.22	0.11	0.11	0.11		1.44		
葛飾区	0.25		0.13	2.38		0.75		0.25	0.50		
江戸川	1.17	0.33	0.75	2.08	0.17	0.33		0.42	0.92		
八王子市	0.90	0.30	0.80	3.40	0.40	0.40	0.40	0.30	2.50		
町田市			1.63	4.88	0.13	1.00	0.50	0.13	2.50	0.25	
西多摩			0.80	2.60	0.40	0.80	1.20	0.40	1.60		
南多摩	1.56	0.22	0.89	2.11		0.22	0.56	0.44	2.11		
多摩立川	0.50		0.21	1.71	0.07	0.14	0.43	0.07	0.57		
多摩府中	1.47	0.13	0.67	2.27	0.27	0.60	0.40	0.13	1.13		
多摩小平	3.15	0.31	2.00	2.62	0.23	0.54	1.92	0.31	2.92	0.08	
島しょ											
東京都	1.39	0.22	0.89	2.44	0.12	0.70	0.61	0.31	1.49	0.03	0.01

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田										
中央区										
みなと							3.00			
新宿区							0.50			
文京										
台東										
墨田区		0.13								
江東区				2.00						
品川区				1.00						
目黒区		0.13								
大田区		0.05								
世田谷	0.46	0.15		1.00		1.00				
渋谷区				1.00						
中野区										
杉並	0.10									
池袋										
北区										
荒川区		0.83								
板橋区										
練馬区	0.17			0.50						
足立		0.06								
葛飾区	0.25									
江戸川	0.08			1.50						
八王子市	0.10			1.50						
町田市	0.13									
西多摩										
南多摩				2.00						
多摩立川	0.14									
多摩府中				0.33	0.67	0.33	0.33	0.33		
多摩小平	0.15									
島しょ										

東京都	0.07	0.03		0.45	0.08	0.12	0.20	0.04		
-----	------	------	--	------	------	------	------	------	--	--

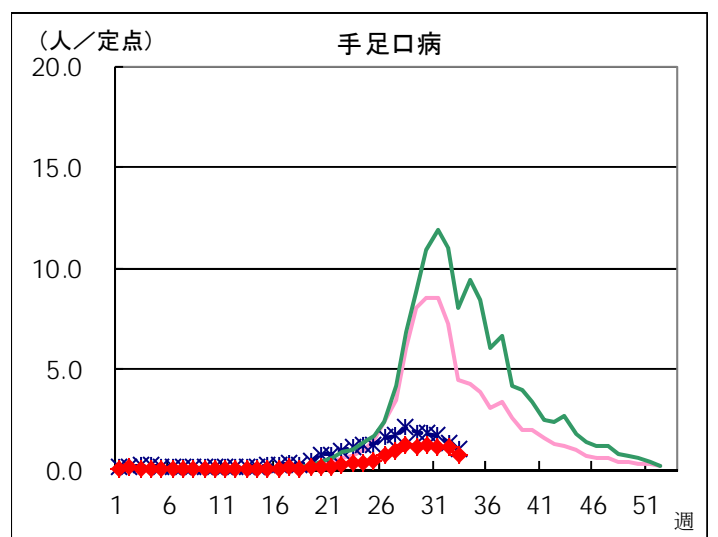
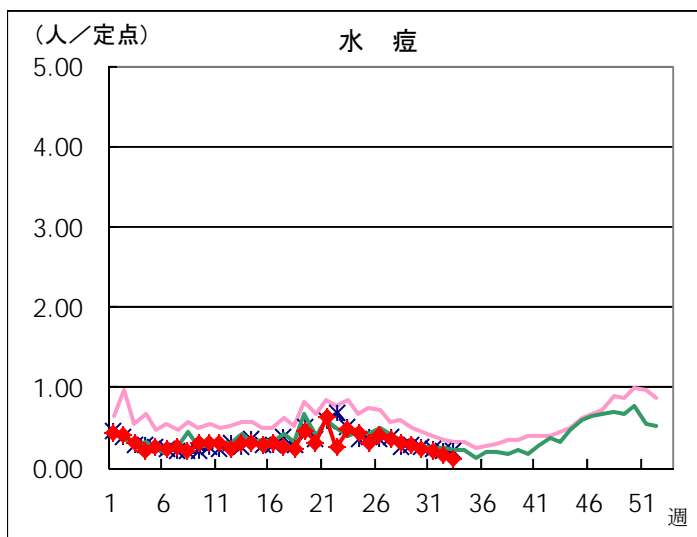
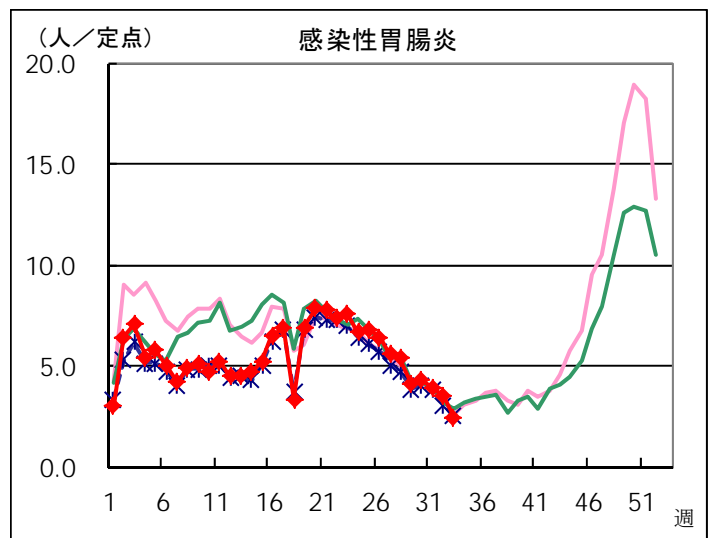
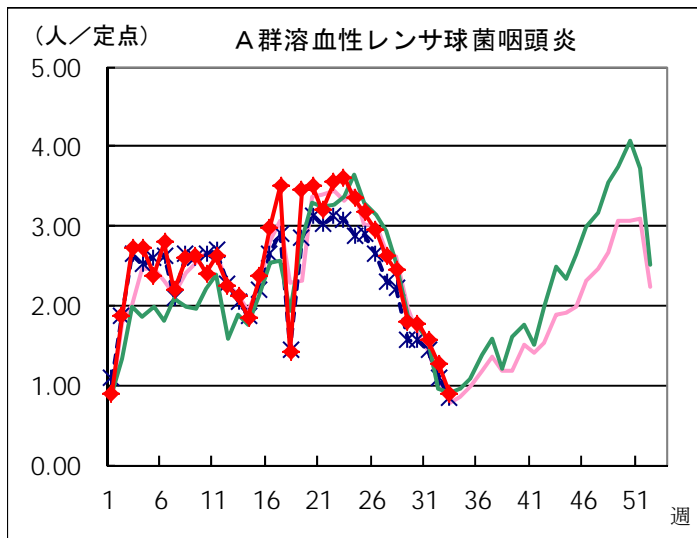
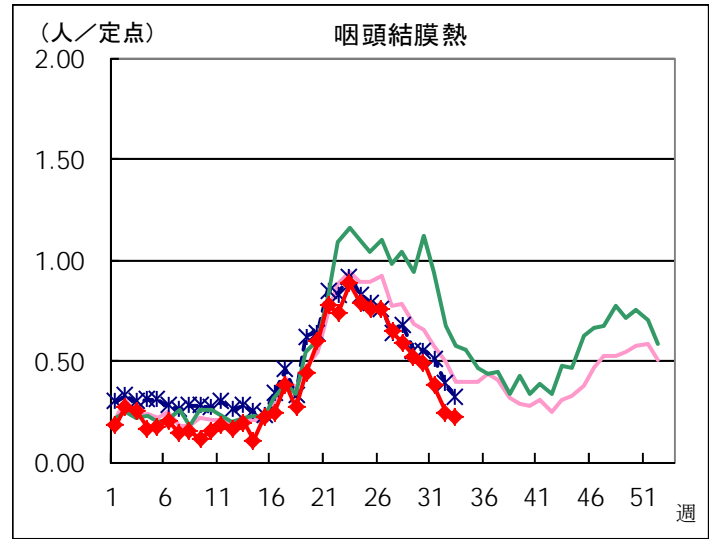
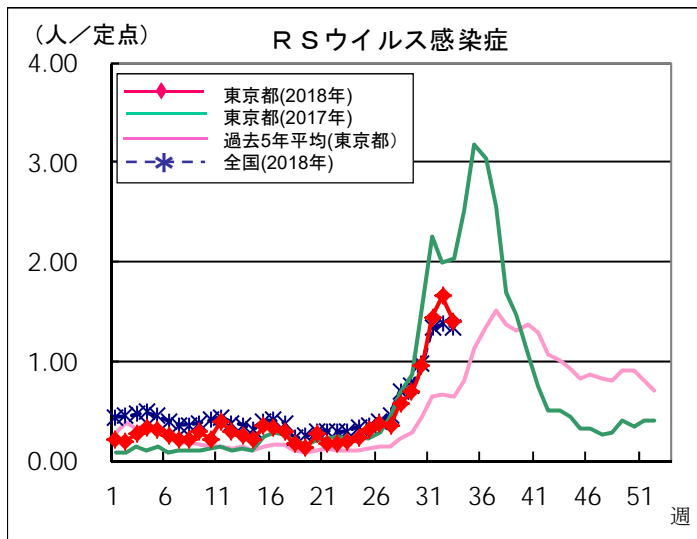
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2018年33週

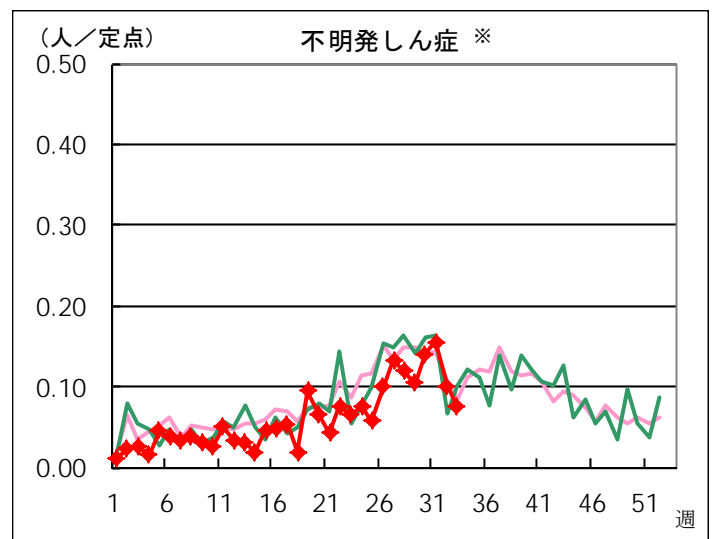
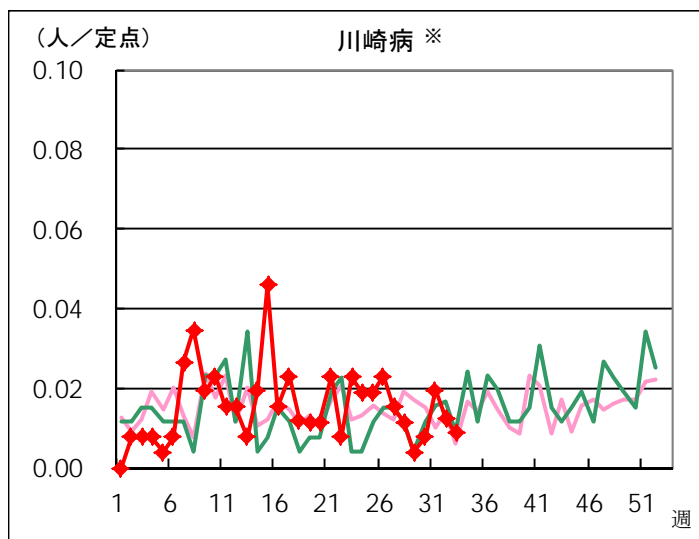
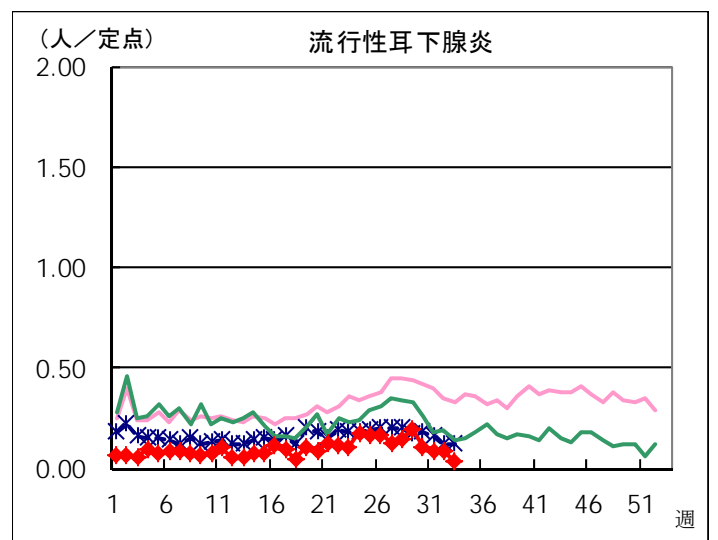
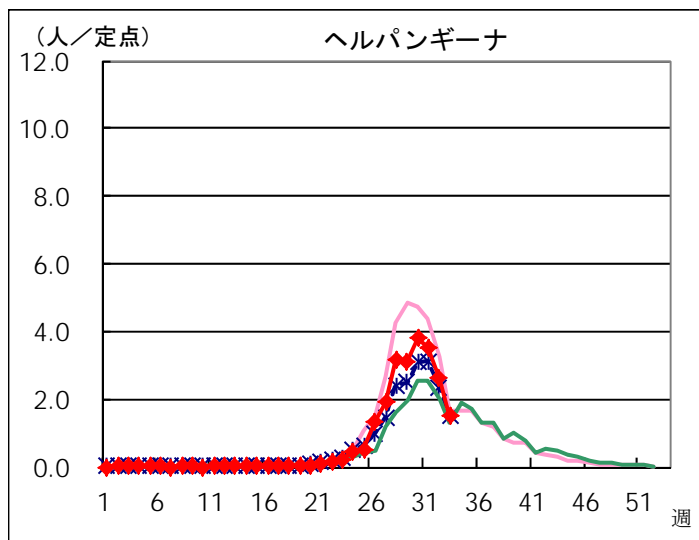
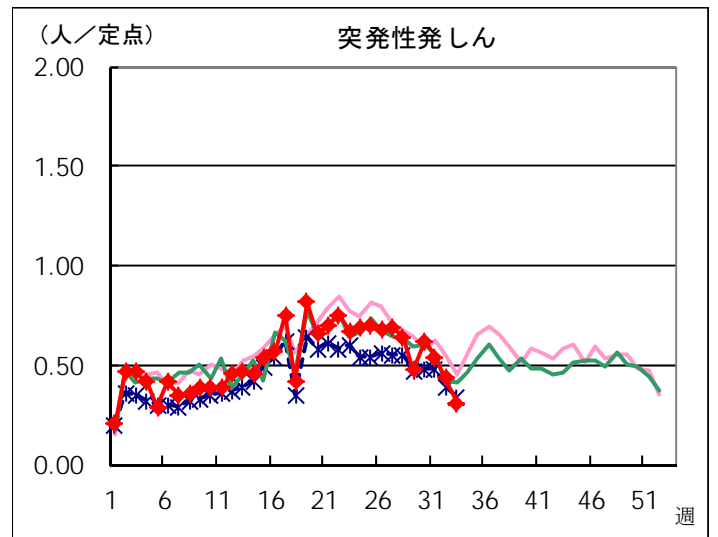
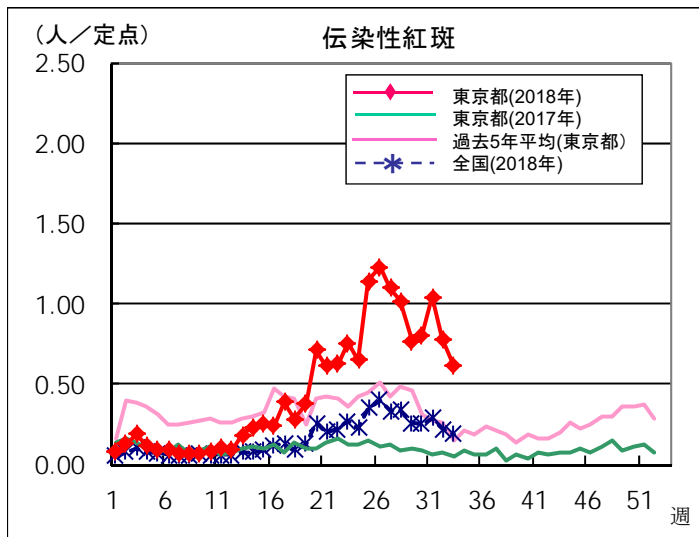
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田		1		1					1		
中央区	3		3	4				3	2		
みなと	35		6	23		1	2	4	12		
新宿区	32	5	23	19	1	3	1	1	12		1
文京	1			2		6	7		3		
台東	2	1	1	10		12	2	4	6		
墨田区	9	1	2	1		4	4	1	2		
江東区	29	2	6	46	1	4	9	3	5		
品川区	8	2	5	12	2	13	6	5	25		
目黒区	16		8	21		7	4		9	2	
大田区	15	8	7	40	1	8	2	4	14		1
世田谷	14	3	18	27	2	3	11	4	11	1	
渋谷区				4			2	1	2		
中野区	2	2	9	11		3	3	4	21	1	
杉並	5	3	4	14		5	4	4	9		
池袋	12		1	1	2	2	2		1		
北区	1		1	3		6	1	3	3		
荒川区	11	2	6	18		24		3	12		
板橋区	1	1	3	16		8	1		8		
練馬区	6	2	10	14	1	4	21	2	19		
足立	6	2	7	29	1	1	1		13		
葛飾区	2		1	19		6		2	4		
江戸川	14	4	9	25	2	4		5	11		
八王子市	9	3	8	34	4	4	4	3	25		
町田市			13	39	1	8	4	1	20	2	
西多摩			4	13	2	4	6	2	8		
南多摩	14	2	8	19		2	5	4	19		
多摩立川	7		3	24	1	2	6	1	8		
多摩府中	22	2	10	34	4	9	6	2	17		
多摩小平	41	4	26	34	3	7	25	4	38	1	
島しょ											
東京都合計	317	50	202	557	28	160	139	70	340	7	2

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田										
中央区										
みなと							3			
新宿区							1			
文京										
台東										
墨田区		1								
江東区				2						
品川区				1						
目黒区		1								
大田区		1								
世田谷	6	3		1		2				
渋谷区				1						
中野区										
杉並	1									
池袋										
北区										
荒川区		5								
板橋区										
練馬区	1			1						
足立		1								
葛飾区	2									
江戸川	1			3						
八王子市	1			3						
町田市	1									
西多摩										
南多摩				2						
多摩立川	2									
多摩府中				1	2	1	1	1		
多摩小平	2									
島しょ										
東京都合計	17	12		15	2	3	5	1		

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2018年33週 現在)

◆ 小児科定点

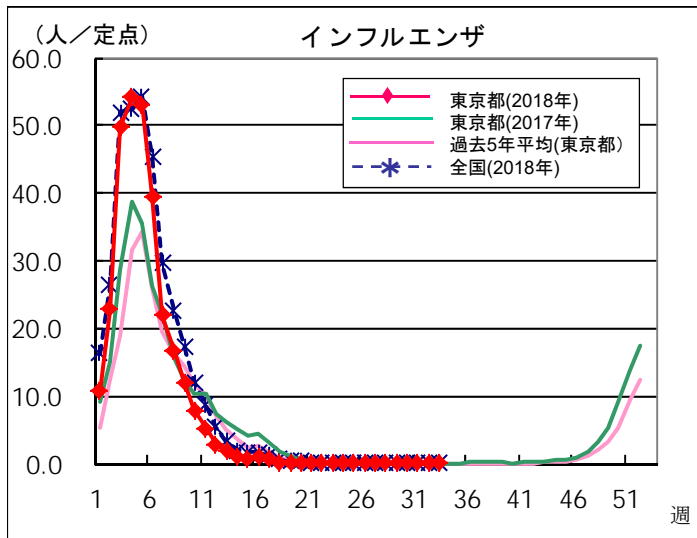




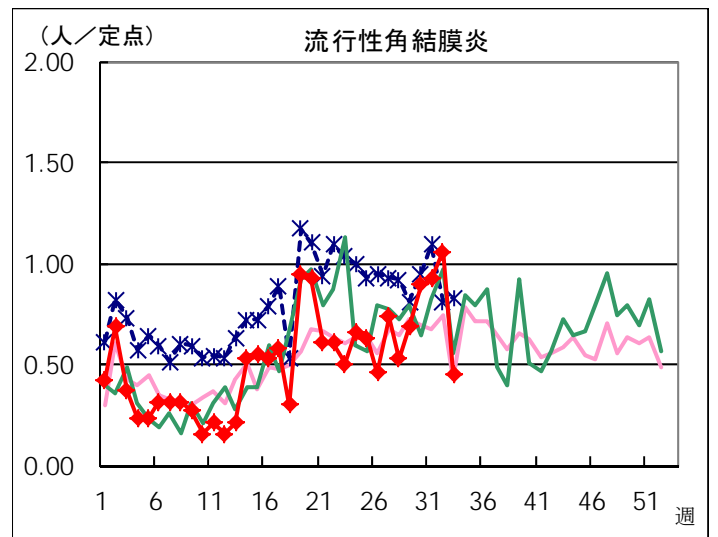
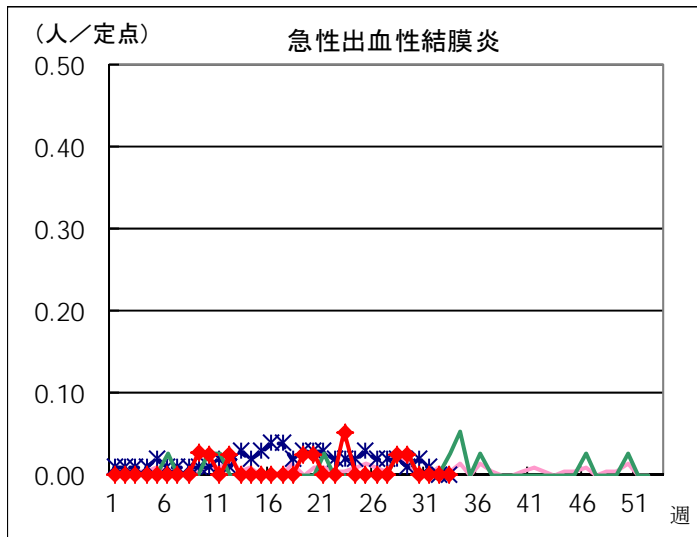
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

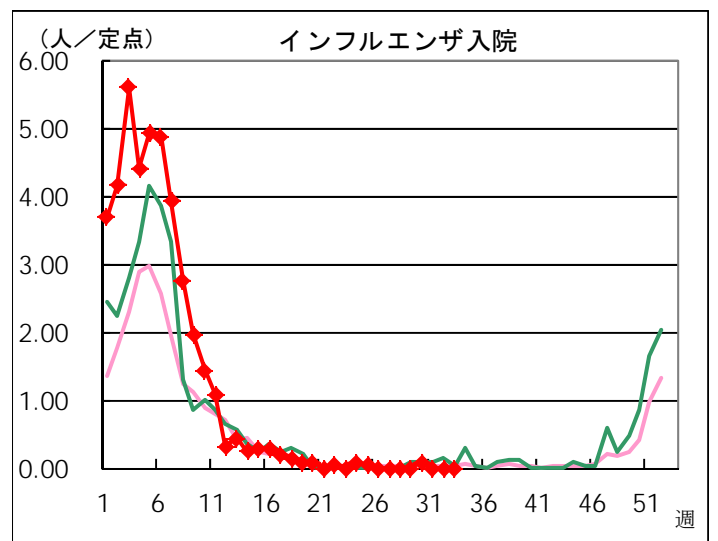
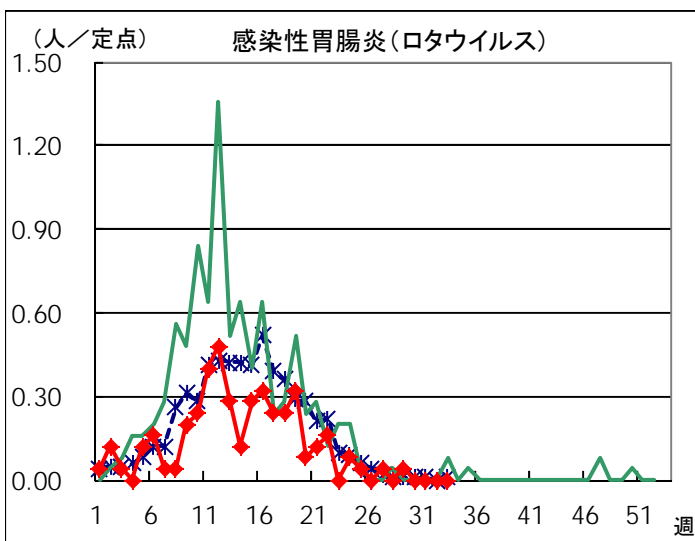
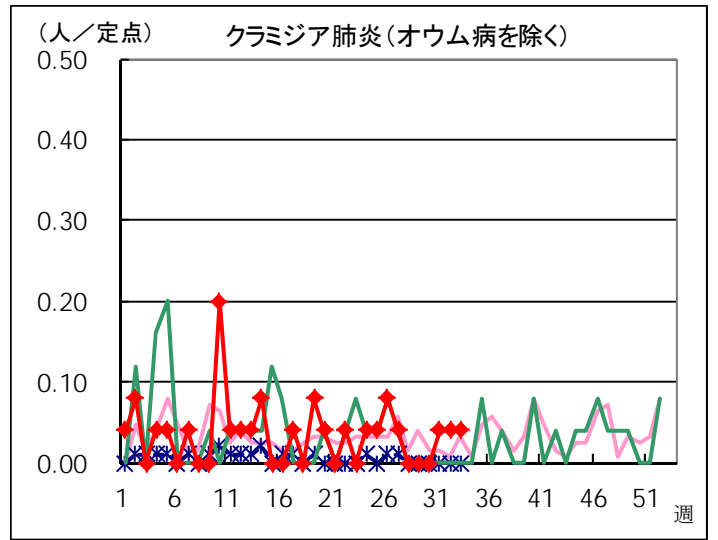
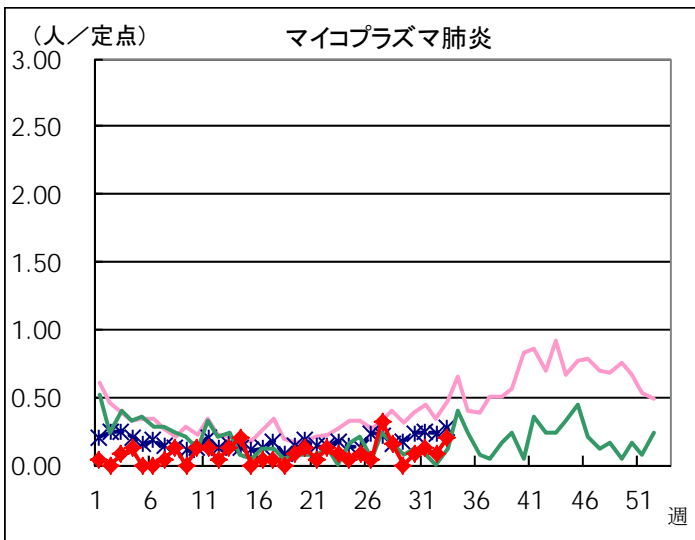
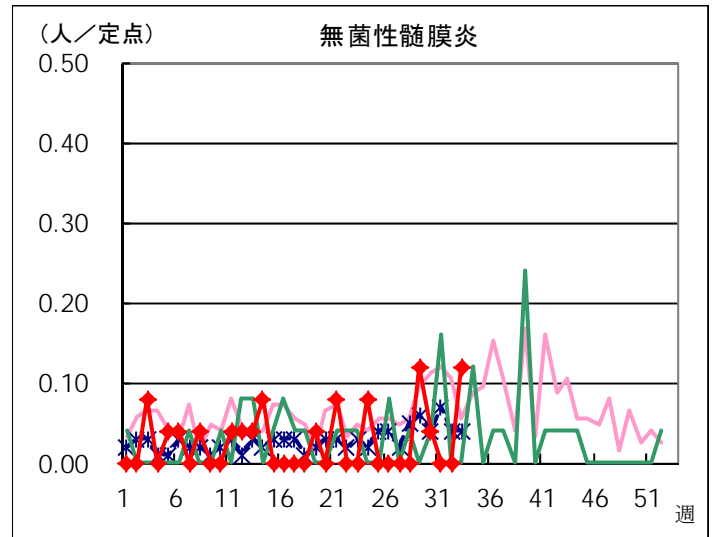
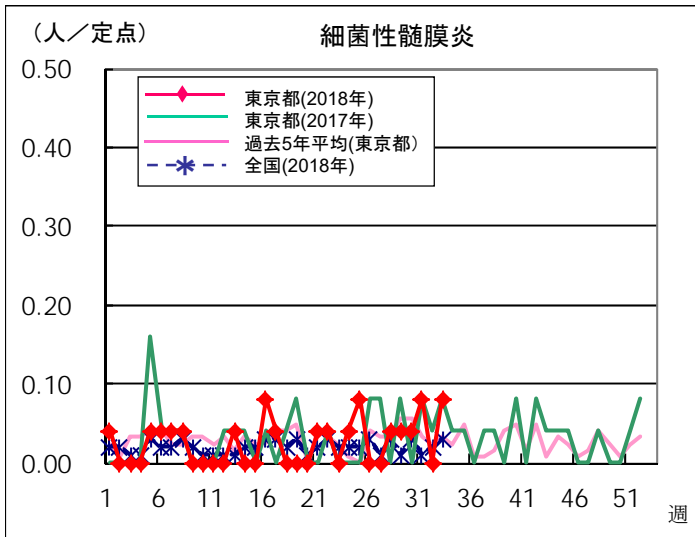
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
7/24	ヘルパンギーナ	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群2型
7/26	手足口病	3	咽頭拭い液	ライノウイルス
7/27	ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群16型
7/27	無菌性髄膜炎	0	髄液	コクサッキーウイルスA群4型
7/28	不明発しん症	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群9型
7/28	無菌性髄膜炎	25D	髄液	エンテロウイルス型別不明
7/30	RSウイルス感染症	5M	咽頭拭い液	RSウイルスB型
7/30	ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群9型
7/30	ヘルパンギーナ	4	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群4型
7/30	不明発しん症	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群9型
7/30	不明発しん症	2	咽頭拭い液	ライノウイルス
8/2	感染性胃腸炎	1	便	アストロウイルス
8/2	感染性胃腸炎	3	便	アストロウイルス

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

31週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2018年31週				
2017-2018年 シーズン累計*	116		190	254

* 2017-2018年シーズンの開始は第36週(2017年9月4日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2018年							
	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週
アデノウイルス	4	4	1	1	1	2	2	
コクサッキーウイルスA群	3	2	3	6	5	3	9	7
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71				1				
その他のエンテロウイルス								1
ライノウイルス	2		3	2	1		1	2
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス					1			
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	2	1	2		1	5		
EBウイルス	1				1	2		
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)				1				
風疹ウイルス								
風疹1a型(ワクチンタイプ)			1					
ヒトパルボウイルスB19	2	2	1	1		2	1	
RSウイルス	1			1	1		3	1
ノロウイルス		1						
ロタウイルス								
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型			1					
インフルエンザウイルスB型								
インフルエンザウイルスAH1pdm09					1	1		
その他のウイルス		1	1		2	1	1	2
A群溶血性レンサ球菌T-1型		1		1		1		
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型								
A群溶血性レンサ球菌T-12型		1	1		1	1		
A群溶血性レンサ球菌T-25型	1							
A群溶血性レンサ球菌T-28型					2			
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型				3				
A群溶血性レンサ球菌その他のT型	1	1						
A群溶血性レンサ球菌T型別不能				1		1		
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2018年24週～2018年31週

	R	咽	A	感	水	手	伝	突	ヘル	流	川	不	イン	イン	急	流	細	無	マイ	ク
	8	14	19	14	3	12	10	8	25	12		34	3	14		4		5		
搬入検体数	8	14	19	14	3	12	10	8	25	12		34	3	14		4		5		
アデノウイルス		8		2								1		1		3				
コクサッキーウイルスA群		2			1	6	1		17			10						1		
コクサッキーウイルスB群																				
エコーウイルス																				
エンテロウイルス71						1														
その他のエンテロウイルス																		1		
ライノウイルス		1			2	1	1		1			2		3						
ヒトメタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス									1											
水痘・帯状疱疹ウイルス																				
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		2						5	1			3								
EBウイルス	1									3										
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)												1								
風疹ウイルス																				
風疹1a型(ワクチンタイプ)												1								
ヒトパルボウイルスB19							5					4								
RSウイルス	7																			
ノロウイルス				1																
ロタウイルス																				
サポウイルス																				
インフルエンザウイルスAH1亜型																				
インフルエンザウイルスAH3亜型														1						
インフルエンザウイルスB型																				
インフルエンザウイルスAH1pdm09														2						
その他のウイルス				4				1											3	
A群溶血性レンサ球菌T-1型			3																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型																				
A群溶血性レンサ球菌T-12型			4																	
A群溶血性レンサ球菌T-25型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-28型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			3																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			2																	
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

<感染症豆知識>

急増する梅毒、その診断と治療

梅毒の拡大が止まらない。東京都感染症情報センターによれば、2017年のわが国の梅毒患者は5,770人を数え、そのうち東京都が国全体の31%、1788人を占めていることがわかった。東京都の報告数は、11年から増加に転じており、17年の患者報告数は、感染症法に基づく調査が始まって以来最多となった。中でも女性患者は、この5年間で約11倍増加。20～24歳の女性患者は10年には僅か4人に過ぎなかったが、この5年間で約25倍も激増している。

梅毒の病原体は、スピロヘータ科のグラム陰性菌であるトレポネーマ (Tp)。梅毒は、感染経路別には先天・後天、症状別では顕症・無症候、病期別では早期(第1期、第2期)・晩期(第3期、第4期)の3つに大別される。ここでは顕症梅毒について、「性感染症 診断・治療ガイドライン2016」(日本感染症学会)から概説した。

Tpに感染し約3週間すると侵入部位に小豆大から示指頭大の硬結(初期硬結)が生じ、やがてこの中心に潰瘍を形成し硬性下疳となる。やや遅れて両側の鼠径リンパ節が腫大するも疼痛などの自覚症状がなく、第1期は放置していても2～3週間で消退し、無症状となる。第2期は感染から12週間ほどで、丘疹性梅毒疹、バラ疹など多彩な発疹が現れる。感染後3年以上経過すると、結節性梅毒疹やゴム腫を特徴とする第3期や、大動脈炎や脊髄癆などの症状が現れる第4期になるが、現在ではほとんどみられない。確定診断はいずれの時期もTpの検出あるいは梅毒血清反応によってなされる。

梅毒治療は、バイシリンG:1日120万単位/分3またはアモキシシリン:1日1,500mg/分3の内服が基本。投与期間は第1期2～4週間、第2期4～8週間、第3期以降は8～12週間程度となる。世界で標準治療となっているペニシリンGの筋注は行われていない。

学会員でなくても、上記ガイドラインは、以下からダウンロードできるので参考にされたい。

(文責 一般社団法人日本家族計画協会理事長 北村邦夫)

日本性感染症学会 http://jssti.umin.jp/guideline_c.html